

「居場所づくり」とは

参考: 令和5年内閣府「こどもの居場所づくりに関する調査研究」

1 「居場所づくり」の必要性

現状

- ・近所づきあいの希薄化
- ・少子化によるこども・若者どうしの経験の減少
- ・こども・若者を取り巻く課題

⇒ 意図的に交流の場をつくることが必要では？

2 高砂市のこども・若者を取り巻く課題

1) 若者のひきこもり傾向(計画書P60)

H29 0.8%(全国1.6%)

↓

R5 5.1%(全国2.1%)

2) 長期欠席と不登校(計画書P19)

小学校 78人(R元) → 296人(R5)

中学校 276人(R元) → 377人(R5)

3) 自殺者(高砂市自殺対策計画)

H30～R4の5年間 23人

3 居場所とは？

1) 営利活動としての場所

塾、ショッピングセンター、ゲームセンター、カフェ

2) 教育(学校)や家庭

3) 共助・公助としての居場所づくり

① 児童館、公民館、図書館などの公共施設

② 放課後児童クラブ、放課後こども教室、こども会

③ 公園、ひろば、プレーパーク、校庭(外遊び)

④ ユースセンター(交流会・イベント)

⑤ フリースペース (多目的な場所)

⑥ こども食堂

⑦ 校内カフェ (学校の先生の協力)

⑧ 学習・生活支援(困窮世帯)

⑨ オンライン交流(仮想空間)

5/18 若者未来会議のゴール

「居場所づくり」の観点で、改善点を市に提案する

【例】

- ① 若者が利用しやすい「自習室」の改善点は？
- ② 若者が利用しやすい「公園」の改善点は？
- ③ 若者が参加しやすい「イベント」の改善点は？